

教育研究科教科教育専攻社会科教育コース 昭和57年度修了生修士論文一覧

社会科と民俗学に関する一考察	浅井清志
イギリスの中等教育における地図指導	
— 日本の地図指導改善のために —	飯田誠
高等学校「世界史」における朝鮮史像	浦部利明
社会科における「祭り・芸能」を題材とした文化財学習について	
— 栃木県栗山村湯西川湯殿山神社	
祭礼および奉納獅子舞を題材として —	角海紀雄
社会科における態度形成について	
— 2つの社会科観を手がかりとしてのその基礎的研究	川部裕幸
社会科における環境教育について	
— 「現代社会」を中心に —	神田聡
「現代社会」における資源・エネルギー問題の 取り扱いと学習指導について	小林滋
日本史教育における対外関係史に関する一考察	
— 日朝関係を中心にして —	斎藤宏夫
国語読本に見るナショナリズムの教育の研究	鈴木一弘
S.キルケゴールにおける「教える者」と「学ぶ者」との関係	須藤茂明
明治期における「世界」認識教育の研究	
— 学制から検定期末までの小学校用教科書、特に 地理教科書に描かれた「世界」の考察を中心として —	玉井正史
高等学校社会科におけるCAI利用の研究	橋本克己
終戦直後における公民教育の構想の理念	藤井千春
宗教的情操教育に関する一考察	
— 学校教育におけるその処遇と意義	藤倉真一
社会科教材に対する教育工学的アプローチ	安岡今日子

大正～昭和期を中心とした実業補習学校における郷土教育の展開

— 山梨県を事例として — 渡 辺 理 恵

映像教育にみる戦後社会科の変容

— 小学校社会科 — 大 垣 圭 子

文化地理学的成果の中学校社会科地理的分野への
導入に関する一試論

— ラテンアメリカの取扱いについて — 木 内 晃

高等学校「倫理・社会」及び「倫理」における

和辻哲郎の取り扱いについて 斎 藤 康

柳田国男の「過渡期」認識と教育論

— 戦前の歴史教育論，郷土教育論に関する考察を中心に — 影 山 正 美

昭和58年度役員

- | | |
|---|---|
| 会 長 | 朝倉隆太郎(筑波大学教育学系) |
| 副 会 長 | 長瀬 守(筑波大歴史人類学系) |
| 評 議 員 | 飯島睦子(東京・今川中学) 大森正(東洋
大学) 梶哲夫(筑波大学) 熊倉久仁子(栃木・壬生
中) 後藤忠司(兵庫・北須磨高) 高山次嘉(新潟大
学) 中村八朗(筑波大学) 二谷貞夫(筑波大学)
古山良平(東京・小金井北高) 別府淳夫(筑波大学)
三浦軍三(東京学芸大学) 横山十四男(筑波大学) |
| 会計監査 | 小山 保郎(国学院栃木短大)
藤沢 法暎(金沢大学) |
| 幹 事 | 梶哲夫, 横山十四男, 大森正, 二谷貞夫,
渋沢文隆, 森茂岳雄, 大友秀明, 木山徹哉
松本敏, 宮園衛, 平岡可奈之, 池井芳則 |
| 「筑波社会科研究」編集委員 梶哲夫, 渋沢文隆, 森茂岳
森茂岳雄, 大友秀明, 松本敏 | |